

## 管内養護教諭研修会・性教育指導者研修会を終えて

8月29日(水)管内養教研と性指導研の2つの研修会が午前、午後と続けて実施されました。それぞれの内容についての概略を紹介します。

### 管内養護教諭研修会（午前開催）

#### 【情報提供】学校保健等に関する情報

#### ○放射線関係について

インターネットを利用して、実際に岩手県のHPにアクセスし、閲覧する方法(手順)を説明しました。

今現在の放射線に関係する最新の情報を知ることができる便利なツールとして、上手に活用していきましょう。

【検索】[www.pref.iwate.jp](http://www.pref.iwate.jp) ⇒環境⇒大気・水・化学物質

#### ○新学習指導要領 保健領域の説明

保健については、小・中・高校と、子ども達の発達の段階を踏まえて、指導内容の体系化が図られています。

- ◆ 小学校 より実践的に(身近な生活の健康・安全)
- ◆ 中学校 より科学的に(個人生活の健康・安全)
- ◆ 高等学校 より総合的に(個人・社会生活の健康・安全)

これにより、生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の育成を目指しています。

加えて、生活習慣の乱れやストレスなどが、健康に影響を与えることを学ぶことも重要です。

#### 【研究協議】特別な支援を必要とする児童・生徒への対応の実態について

機能の特性(教育相談的機能)上、保健室には学校全体の子ども達の体調や心理面の様々な情報が集約しています。

学校規模により、情報の量や質などに違いはありますが、この情報を、学校全体で共有することがまず大切になります。それにより、具体的な支援体制や、様々な配慮へとつながっていきます。



### 性教育指導者研修会（午後開催）

#### 【講話】

小中高生や特別支援学校における性教育指導について  
～思春期の子どもたちにどう向き合い、どう伝えるか～

講師 岩手県立大学 看護学部

准教授 福島 裕子氏

福島先生ご自身の経験や、学生達との会話からのエピソードを交えながら、性教育の考え方、教育を行う上での工夫や心構えなど、概念的なお話をいただきました。

- ◆ 「性」教育は生き方教育。
- ◆ 指導する側の価値観が子どもたちに伝わる。
- ◆ どこまで自己開示ができるかが指導のポイント。
- ◆ みんな、自ら選んでこの世に生まれてきた。だから、どんな命にも、果たすべき使命や役割がある。

#### 【研究協議】発達段階に応じた性に関する指導の在り方

各学校種毎の小グループで協議を行いました。

#### 【小・中学校の発表から】

- ◆ 養護教諭の専門的な指導は、効果的である。教育課程に組み込むことにより、さらに、計画的な指導が期待できる。
- ◆ 担任との連携が何より大切。養護教諭からの積極的な働きかけも必要。資料提示すると実践しやすい。

#### 【高校の発表から】

- ◆ 最近の生徒の実態から、男子への性指導の必要性を強く感じる。保護者への知識提供も必要ではないか。

受講者からは、「大変勉強になった。」という声が多く寄せられました。また、「担任の先生方や管理職の方々にもぜひ聴いていただきたい内容だった。」という意見もいただきました。

## コンプライアンス情報①

第2回学校訪問と「コンプライアンス取組状況調査」を通して、各小中学校の研修会の実施状況を教えていただきました。今回は、その中で、心に響く手記等を活用した取組を紹介いたします。インターネットからダウンロードすることもできますが、PDFで添付いたしますので、是非一読の上、活用願います。

- ① 「『遺された親』として、今」  
「飲酒運転で実刑判決を受けたKさんの手記より抜粋」(山形県HP「飲酒運転の撲滅に向けて(行動指針)」)
- ② 「日高の遺書」(直接検索)
- ③ 「一瞬の出来事の先には」(交通事故加害者の手記「贖いの日々」で検索)
- ④ 「ディズニーランドのお子様ランチ」(直接検索)